

# 修士論文要旨

|  |                  |            |                  |
|--|------------------|------------|------------------|
| 開放環境科学 専攻  | 学籍番号<br>80224760 | フリガナ<br>氏名 | イシカワ タツキ<br>石川 樹 |
| (論文題目)   |                  |            |                  |
| 読者のための英字新聞における見出し補足手法の提案   |                  |            |                  |
| (内容の要旨)  |                  |            |                  |
| <p>近年、インターネットの発展、普及によって文書の電子化が進み、インターネット上に存在する文書の量が爆発的に増加している。国際化が進む現代では、これら文書の中から情報をいち早く入手することが大切であり、英語の新聞やレポートなどに触れる機会が増えてきている。しかし、大量の情報の中から自分の求めている情報を探し出すのは、大変困難である。特に一般の日本人の英語力では、多くの情報に目を通すには非常に時間が必要になってしまうため、自分に必要と思われる情報だけを選び出せることが望ましい。そんな中、常に世界の最新情報が配信されている新聞記事には、見出しという記事の内容を読み取ることのできる表現が存在している。しかし、見出しは特殊な表現形式をしていたり、予備知識を前提として書かれていたりする場合が多く、それだけでは記事の内容を推測することが難しい。</p> <p>そこで本研究では、読者が見出しから記事の内容をより推測しやすくなるように、英字新聞記事の見出しを補足する手法を提案した。</p> <p>英字新聞の分析を行った結果、見出しに含まれる名詞の本文中での最初の出現位置に着目すると、8～9割が本文の第一段落で出現していること、第二段落以降の場合は違う意味をもっている可能性が高いこと、記事の品詞情報を用いれば名詞に対する補足情報を本文から抽出できることがわかった。そこで、提案を実現するために形態素解析を行い、見出しと本文の品詞情報から、見出しに含まれる名詞についての補足情報を抽出し補足する手法を実装し、その有用性を調べた。</p> <p>50記事に対して提案手法を適用した結果、見出しに含まれていて、補足情報が本文中に存在している57の名詞に対して、49(86%)の名詞の補足を完全に、もしくは一部について行うことができた。また、読者に補足前と後の見出しを比較してもらったところ、補足したすべての見出しに対して記事の内容を予測しやすくなったという結果が得られた。これによって、見出しに含まれる名詞に注目することにより、記事の見出しと第一段落の品詞情報だけで読者にとって有用な見出しの補足が可能であることが示された。</p> |                  |            |                  |